

生命や暮らしを守るために、 トラックは活やくしているんだ。



●「防災の日」に実施される緊急輸送訓練

トラック輸送業界では、自然災害などの緊急時に国や市町村と協力して、緊急・救援輸送を優先的にスピーディーに行っているんだ。平成7年に起きた阪神・淡路大震災では、震災発生直後から緊急・救援輸送にあたり、のべ4万台ものトラックが出動したんだ。

ライフラインの役割 を果たすトラック

また、平成9年に日本海で沈没したロシア船タンカー「ナホトカ号」の重油流出事故では、のべ1千台を超えるトラックが出動し救援活動を行ったんだ。全国のトラック協会では各自治体と協定を結び、いつでも災害時の救援ができるよう万全の体制を整えているんだよ。



●島根県沖の重油流出事故で救援活動を行う人々



●新潟県中越地震での救援活動



●阪神・淡路大震災ではトラックのべ4万台が出動

トラック輸送を知ってもらうために、さまざまな活動を行っているんだ。

新聞やラジオ、インターネットなどを活用

トラック輸送事業をみんなに正しく知ってもらうために、全日本トラック協会では機関紙の発行をはじめ、新聞、ラジオ、インターネットなど、さまざまなメディアを活用した広報活動を積極的にやっているんだ。とくに、ホームページでは、フラッシュアニメでできた「もしもしトラックが止まったら」



●「トラックの日」に全国各地で開きされているさまざまなイベント



●フラッシュアニメ「もしもトラックが止まったら」



●「トラック早分かり」

もトラックが止まったら」や、トラックのしくみを解説した「トラック早分かり」が見られるよ。また、平成4年には10月9日を「トラックの日」と決めて、「トラックは生活と経済のライフライン」を統一テーマとし、全国各地でさまざまなイベントを開きしているんだ。



10月9日 は トラックの日